

## 安全データシート



### 1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1  
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室  
 担当者 : 認証標準物質担当  
 電話番号 : 029-861-4059                      ファックス番号 : 029-861-4009  
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2005年11月8日

改正日 : 2020年1月31日

整理番号 : 8103001

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ CRM 8103-a 重金属分析用 ABS 樹脂ペレット  
 (Cd, Cr, Pb 高濃度)

(Heavy metals (Cd, Cr, Pb) in ABS resin - high concentration pellet)

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、重金属分析用 ABS 樹脂ペレット(Cd、Cr、Pb 高濃度)であり、分析の精度管理や分析方法・分析装置の妥当性確認に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。

本標準物質は、標準物質(日本産業規格(JIS) Q0030に定められるもの)である。

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 発がん性 : 区分 1A  
 生殖毒性 : 区分 2

GHSラベル要素 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い  
 発がんのおそれ

注意書き : [安全対策]  
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
 使用前に取扱説明書を入手すること。  
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。  
 経口摂取は有毒である。

[応急措置]  
 飲み込んだ場合大量の水を飲ませ吐かせる。医師の診断を受ける。  
 暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断を受けること。

[保管]  
 直射日光の当たらない室温で清浄な場所に保存する。

施錠して保管すること。

[廃棄]

都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合体
別名	: ABS 樹脂
化学特性	: (C <sub>8</sub> H <sub>8</sub> . C <sub>4</sub> H <sub>6</sub> . C <sub>3</sub> H <sub>3</sub> N) <sub>x</sub>
分子量	: -
CAS 番号	: 9003-56-9
含有量	: 100 %
官報公示整理番号(化審法)	: 6-176
官報公示整理番号(安衛法)	: 公表

#### 成分 1

化学名又は一般名	: 酸化カドミウム
化学特性	: CdO
分子量	: 128.41
CAS 番号	: 1306-19-0
含有量	: 106.9 mg/kg (Cd として)
官報公示整理番号(化審法)	: 1-202
官報公示整理番号(安衛法)	: 公表

#### 成分 2

化学名又は一般名	: クロム酸鉛
化学特性	: PbCrO <sub>4</sub>
分子量	: -
CAS 番号	: 1344-37-2
含有量	: 269.5 mg/kg (Cr として) 1084 mg/kg (Pb として)
官報公示整理番号(化審法)	: 5-5161
官報公示整理番号(安衛法)	: 公表

### 4. 応急措置

吸入した場合	: -
皮膚に付着した場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴等は脱がせ、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 水でよく口の中を洗浄する。医師に連絡する。
応急処置をする者の保護	: 個人用保護具を着用すること。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 散水、二酸化炭素、ドライケミカル粉、耐アルコール、ポリマー泡。
- 火災時の特有危険有害性 : 燃焼ガスには一酸化炭素や NO<sub>x</sub>、CN などが含まれるので、可能な限り風上から消火を行い、吸入しないようにする。
- 特有の消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。消火活動は風上から行き、有害なガスの吸入を避ける。
- 消火を行う者の保護 : 防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム長靴。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 皮膚、眼および個人の衣服の汚染を防止するため、適切な保護具を着用する。
- 保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 回収、中和 : 漏出した製品は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
- 二次災害の防止策 : 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。  
局所排気装置を使用すること。
- 局所排気・全体換気 : 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し局所排気装置を設置する。
- 安全取扱注意事項 : 眼、皮膚、衣服への接触を避ける。  
作業中は飲食、喫煙をしない  
取扱い後、十分に洗浄する。  
使用前に取扱説明書を手に入れること。

### 保管

- 適切な保管条件 : 褐色ガラス瓶に入れ、直射日光の当たらない室温で清浄な場所に保存する。施錠して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : ガラス

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 安全管理上の留意事項

設定されていない

#### 許容濃度（酸化カドミウム）

- ・ACGIH TLV-TWA (2000年) : 0.01 mg/m<sup>3</sup> (Total dust/Particulate, Cdとして)
- : 0.002 mg/m<sup>3</sup> (Respirable dust, Cdとして)
- ・日本産業衛生学会勧告値 (1998年) : 0.05 mg/m<sup>3</sup> (Cdとして)
- ・OSHA PEL TWA : 0.2 mg/m<sup>3</sup> (Cdとして)

#### 許容濃度（クロム酸鉛）

- ・ACGIH TLV-TWA (2000年) : 0.05 mg/m<sup>3</sup> (Pbとして)
- : 0.012 mg/m<sup>3</sup> (Crとして)
- ・日本産業衛生学会勧告値 (1998年) : 0.1 mg/m<sup>3</sup> (Pbとして)
- : 0.05 mg/m<sup>3</sup> (Crとして)

### 設備対策

#### ◇貯蔵上の注意

- ・直射日光の当たらない室温で保管する。

#### 保護具

- ・通常の手扱いは、特に必要なし。

## 9. 物理的及び化学的性質

- ・外観 : 固体 (粒状)
- ・色 : 黄色又は薄黄色
- ・臭い : データなし
- ・pH : データなし
- ・融点 : およそ 200°C
- ・沸点 : データなし
- ・引火点 : データなし
- ・爆発範囲 : データなし
- ・蒸気圧 : データなし
- ・相対蒸気密度 (空気 = 1) : データなし
- ・比重又は嵩比重 : データなし
- ・溶解度 : 水に不溶
- ・n-オクタノール/  
水分配係数 (log Po/w) : データなし
- ・自然発火温度 : データなし
- ・分解温度 : データなし
- ・燃焼性 : データなし
- ・密度 : 1.033 g/cm<sup>3</sup>

## 10. 安定性及び反応性

### ◇安定性

- ・通常の貯蔵、取扱いにおいて安定である。

### ◇反応性

- ・熱分解により、NO<sub>x</sub>、CNなどが発生するおそれがある。

- ◇危険有害反応性
  - ・データなし
- ◇避けるべき条件
  - ・データなし
- ◇混触危険物質
  - ・データなし
- ◇危険有害な分解生成物
  - ・一酸化炭素

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口（酸化カドミウム） マウス LD50： 72 mg/kg・ラット LD50： 72 mg/kg
発がん性	経口（クロム酸鉛） マウス LD50： >12 g/kg
生殖毒性	クロム酸鉛（区分1A）を約0.17%含むことより区分1Aとした。 クロム酸鉛（区分2）を約0.17%含むことより区分2とした。

## 12. 環境影響情報

- 生態毒性
  - ・データなし
- 分解性・濃縮性
  - ・微生物等による分解性はない（酸化カドミウム）。
- 生体蓄積性
  - ・魚介類の体内において、濃縮性または蓄積性がない、あるいは低いと判断される物質である。  
また、高濃縮性ではないと判断された物質。（酸化カドミウム）
- 土壌中への移動性
  - ・データなし
- オゾン層への有害性
  - ・データなし

## 13. 廃棄上の注意

- ・都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当なし
国連分類	: -
品名	: -
容器等級	: -
ICAO/IATA	: 該当なし
海洋汚染物質	: 該当なし
注意事項	: 直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運

---

搬する。

---

## 15. 適用法令

### ◇労働安全衛生法

- ・名称等を表示すべき有害物（クロム酸及びその塩）、（鉛及びその無機化合物）
  - ・名称等を通知すべき有害物 No. 142（クロム酸及びその塩）、No. 411（鉛及びその無機化合物）
- 

## 16. その他の情報

### その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な手扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、手扱い上のいかなる保証をなすものではありません。

---